

CKD(慢性腎臓病)対策

第 1 現状 (これまでの成果) と課題

1 CKD (慢性腎臓病) の患者数

- 成人の 8 人に 1 人が CKD(慢性腎臓病)と推計されていますが、腎機能異常に気付いていない CKD (慢性腎臓病) 患者が多数存在すると推測されます。

【表 1】 全国及び長野県の患者推計数

区 分	CKD 患者	うち要治療者※ ¹
全国	約 1,330 万人 (12.9%)	約 590 万人 (5.7%)
長野県※ ²	約 21 万人	約 9.4 万人

(日本腎臓学会 CKD 診療ガイド 2012 による推計値)

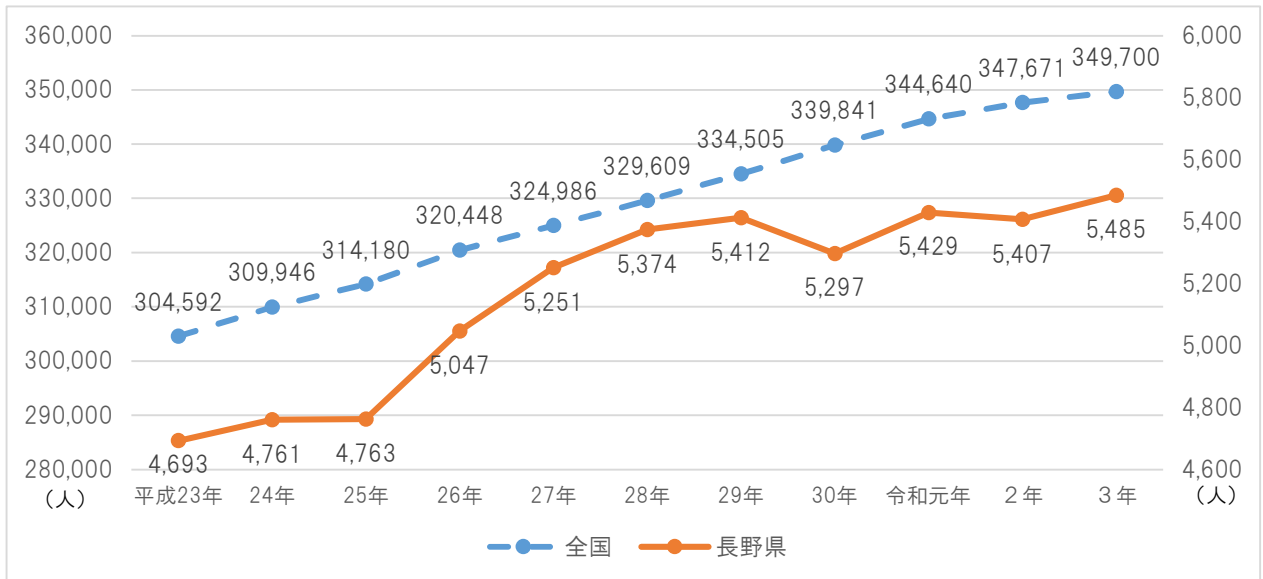
※¹ タンパク尿が陽性または、GFR50ml/分/1.73 m²未満

※² 長野県の患者及び要治療者 (全国の値を基に、長野県毎月人口異動調査 R4.10.1 による 20 歳以上人口 1,655,472 人から推計)

2 慢性人工透析の患者数と原疾患

- 慢性人工透析患者数は全国同様、本県も増加傾向にあります。
- 日本透析医学会によると、透析導入の原疾患は糖尿病性腎症が 40.2%で最多ですが、透析導入患者の、高齢化を反映し、腎硬化症が 18.2%であり、増加傾向です。

【図 1】 慢性人工透析患者数の推移



(日本透析医学会「わが国の慢性透析療法の現況」)

【表2】 長野県の人工透析患者について

(単位：人)

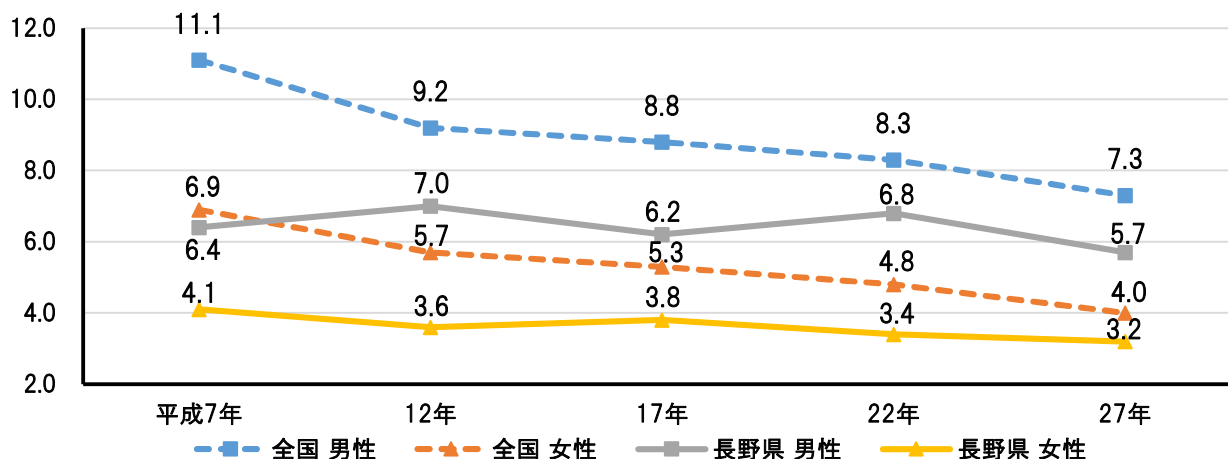
区分		平成 28 年	29 年	30 年	令和元年	2 年	3 年
長野県	透析治療患者数	5,374	5,412	5,297	5,429	5,407	5,485
	新規透析導入患者のうち 原疾患に記入があった患者数	622	588	520	560	612	592
	新規透析導入患者のうち 糖尿病性腎症の患者数	273	238	209	235	241	213
全国 原疾患 割合	透析治療患者数	329,609	334,505	339,841	344,640	347,671	349,700
	糖尿病性腎症 (%)	43.2	42.5	42.3	41.6	40.7	40.2
	慢性糸球体腎炎 (%)	16.6	16.3	15.6	14.9	15.0	14.2
	腎硬化症 (%)	14.2	14.7	15.6	16.4	17.5	18.2

(日本透析医学会「わが国の慢性透析療法の現況」)

3 腎不全による死亡

○ 本県、全国ともに腎不全による年齢調整死亡率は減少傾向にあります。

【図2】 腎不全による年齢調整死亡率（人口10万対）



(厚生労働省「人口動態統計特殊報告」)

4 取組

○ 透析導入患者数の減少のためには、糖尿病の重症化予防と一体的に取り組む必要があります。平成28年に糖尿病性腎症重症化予防プログラムを策定し、市町村等医療保険者と連携しながら糖尿病性腎症による新規透析導入患者数の減少等に向けた取組を進めています。

○ CKD（慢性腎臓病）予防のために、市町村では以下の取組を行っています。

【表3】 市町村における取組内容

取組	実施状況	
	平成27年度	令和4年度
住民向けの啓発（講演会等）	24市町村 31%	26市町村 33.8%
血清クレアチニン検査の実施	74市町村 96%	77市町村 100%
検査の結果に基づく保健指導	59市町村 77%	72市町村 93.5%

(保健・疾病対策課調べ)